

住民投票で示された市民の思い 大阪市を残し、 よりよい大阪に

5月17日の「住民投票」で、大阪市民は悩み抜いた上で大阪市存続の結論を出しました。大阪都構想に「賛成」「反対」であっても大阪市をよりよいものにしたいとの願いは共通しています。「不毛な対立」をやめ市民の「協調」を大切にして新しい大阪市政を築くと表明する柳本あきらさんを「大阪市をよくする会」は自主的に支援し、その勝利に全力をあげます。

➡ 「都構想」ノーの先頭に立ち、大阪市を守った人

住民投票では、先頭にたつて、立ち場の違いをこえた共同運動の要の役割を果たした人です。

➡ 対立と分断から、対話と協調に変える人

「選挙で勝てば何でもできる」「話しあいでは解決できない」と対立と分断をあおってきた維新政治から、対話と協調の政治へ転換する人です。

➡ 暮らし切り捨てから、市民の願い受けとめる人

「市民はぜいたくしている」と暮らし切り捨ての維新政治から、敬老パスの改善など市民の願いを公約(下表)している人です。

柳本あきら

大阪市をよくする会は 支援します

プロフィール
大阪市西成区生まれ、41歳
京都大学法学部卒
自民党大阪市議員団 幹事長

5月10日、扇町公園で「都構想」ノーを訴える柳本さん

柳本あきらさんの
政策INDEX
ver.1.0
より

● 敬老パスの改善
(乗車ごとの50円負担廃止)

● 特別養護老人ホームなど建設促進

● 地下鉄1区と2区料金の格差を値下げで是正

● 非正規雇用から正規雇用に転換できるよう企業を支援

● 地域創生型リフォーム条例



● 市立幼稚園の単純な
民営化議論に終止符

● 温かい中学校給食

● 公募校長制度の抜本的見直し

● 子どもの医療費助成の所得制限の撤廃

● 地元企業を応援する公契約条例



市民のくらしは
全国でも最低水準

くらし・福祉を守る大阪市政を

「交通難民」を生まない!

赤バスの廃止、路線バスの廃止・減便で大阪市内に「交通難民」が生まれています。地域住民の願いにそった改善が必要です。

教育現場の混乱を食い止め、 まともな教育を築く

「競争」と「強制」の教育で教育現場は混乱しています。問題多発の校長公募制度を改め、幼稚園「民営化」は中止しましょう。

東日本大震災級の巨大地震・ 津波の対策を早く、着実に!

巨大地震・津波での大阪府の被害想定は、死者数が13万3891人、全壊家屋数が17万9153棟という甚大なもの。現在の大阪には、地下鉄・地下街、それにつながる民間ビルなどがあり、水没の危険があります。東京都と比べ大きく立ち遅れている高潮・津波対策が急がれます。



「大阪市をよくする会」機関紙 〒530-0041 大阪市北区天神橋1-13-15 大阪グリーン会館3階
2015年10月17日 第401号 TEL (06) 6242-8571 (10月21日より) FAX (06) 6357-5303
HP: <http://www.yokusurukai.com>
Mail: yokusurukai@nifty.com
大阪市をよくする会は、大商連、大阪労連、民医連、新婦人、共産党、陣連協、大生連、大借連、民青、民権連、年金者組合などで構成されています。

大阪市をよくする会の
見解をお知らせします